

● CAN'BRICK 内壁施工要領 (接着剤張り工法) ※水掛のない場所

適用下地：石膏ボード / 珪酸カルシウム板 / 構造合板 / モルタル下地

1. 下地処理

下地面の清掃を行ってください。下地がしっかり固定されていること、ボードなどの継ぎ手部分などに不陸がないことを確認してください。

2. 接着剤塗布

専用内壁用接着剤 (MT-BOND) を下地に 7 mm 位のクシ目ゴテでごくように塗り付けた後、クシ目をつぶして 3～5 mm 程度の塗り厚に調整してください。一度に塗る面積はオープンタイム約 40 分以内にブリックを張り終わる面積か、あるいは 1 m²以内にしてください。

3. 張り付け (改良圧着工法)

ブリックの裏面は多少の凹凸が有りますので、ブリックの裏足 (タコ足) が見えなくなる程度に MT-BOND を塗り付けてください。ブリックはもみ込むようにして張り付け、裏面全体に MT-BOND がなじむように目地部に MT-BOND がはみ出すまで十分に押し込んでください。

※ポイント※

◎専用内壁用接着剤 (MT-BOND) の付着状況を確認するため、2 m²おきに数枚剥がし、専用内壁用接着剤 (MT-BOND) が裏面 70 % 以上付着しているか確認しながら作業してください。有効接着面積が 70 % 以下の場合は、クシ目の大きいコテを使用し下地に塗り付ける専用内壁用接着剤 (MT-BOND) の量を増やすか、ブリック裏面に塗り付ける専用内壁用接着剤 (MT-BOND) の使用量を増やしてください。

4. 目地仕上げ

目地部からはみ出てきた専用内壁用接着剤 (MT-BOND) を、わずかに湿らせたブラシなどで自然な感じに整えます。

※ポイント※

◎目地部分の接着剤が少ないと剥離の原因になります。

5. 養生

直射日光を避け、シート張りなどで養生してください。張り付けの接着剤が硬化するまで十分な養生期間をとってください。

※ポイント※

◎最終硬化までには 1 週間程度の養生が必要です。硬化が終了するまではできるだけ通気を良くするよう心掛けてください。

6. クリーニング

ブリックの表面のダストや目地のダストを十分にブラッシングしてください。クリーニングが不十分だと衣服などを汚すおそれがあります。

◎CAN'BRICK はセメント二次製品となりますので、酸洗いは厳禁です。
よりよい意匠を表現するために

MT-BOND は張り付け兼目地一発材となりますが、よりよい意匠を再現するためモルタル目地 (MT-MEJI) 仕上げをする場合、以下をご参照ください。

7. 目地入れ、仕上げ

専用目地材 MT-MEJI を目地袋などを使用して目地部に充填してください。充填後、目地ゴテで荒く押さえてください。ブリックの厚みの 1/2 以上かつ好みの仕上げ (P.462 目地仕上げ参照) までかぶっているか確認し、足りないところは目地袋などで補充してください。

※ポイント※

目地ゴテのコテむらがついていても気にせず仕上げ、最後にササラやブラシなどを用いて、所々ひっかくように仕上げると、目地が風化したように見せることができます。

◎外部や水掛かりのある場所については、弾力性接着剤張り工法または湿式工法 (P.172) を参照ください。

3. 改良圧着工法

